

平成18年度第1回川崎区区民会議子育て支援部会

資料

資料1	次世代を担う子どもの安全・安心を中心とした地域子育て支援に関するこれまでの審議経過	1
資料2	川崎区こども総合支援ネットワーク会議における子どもの安全確保の取組み	2～3
資料3	川中島中学校区地域教育会議 子どもの安全を守る学校・地域連絡会	4～6

次世代を担う子どもの安全・安心を中心とした地域子育て支援に関するこれまでの審議経過

これまでの御意見

具体的な取り組み案

安全・安心(防犯など)

- ・いま子どもに対する事件が増加し、一刻も早く子どもの安全・安心を確保しなければならない。
- ・各地域でいろいろな取り組みが行われているが、それを系統立ててつなげていく必要がある。
- ・地域での子どもの見守りは、大人が子どもを見守るだけでなく、子どもが大人を見守る事例もある。
- ・ハサミ切りつけ事件から地域の人が子どもに目を向けてくれているが、今後途切れることがないようようにすることが大切。
- ・不審者情報などは、正確な情報収集や、その情報の関係機関への提供が大切。
- ・地域の見守りはそれぞれの小学校の特色があるので、自然の流れの中で、不足があれば補うような形で進めたほうがよい。

- ・継続的な見守りの実施(区民)
- ・声かけ運動の実施(区民)
- ・見守りネットワークの整備(行政)
- ・児童生徒の安全に関わる情報配信システムの導入(行政)

出産・病気

- ・小児救急や産科医の減少は行政的な課題だが、区民会議の一つの意見として挙げておきたい。

- ・医療体制の充実(行政)

経済的支援

- ・子どもは社会全体の宝であるから、産んでくれた方だけに経済的な負担をかけるべきではない。

- ・支援制度の充実(行政)
- ・不要になった子供服や遊具等の有効利用(区民)

その他

- ・若い夫婦が助言をしてくださる経験者の方と出会う場があれば、もっと安心して子どもを育てられるのではないかと。
- ・親のストレスが虐待につながっていくと思うので、親もほっとできる空間が地域の中でできていくとよい。
- ・京都の「となりのおばちゃん」のように、女性会や婦人会で若いお母さんの相談にのるシステムがあるとよい。

- ・川崎版「となりのおばちゃん」システムの構築(区民)
- ・子育てサロンや子育て支援センターなど地域における支援活動の充実(区民)

川崎市こども総合支援ネットワーク会議における子どもの安全確保の取り組み

1. 地域緊急情報連絡網により発信した不審者等の状況

(1) 月別発信件数(18年4月からの統計)

事件発生月	情報発信件数
4月	4件
5月	1件
6月	6件
7月	4件
8月	2件
9月	7件
10月	4件
合計	28件

(2) 事件等の種類

種類	件数
身体的危害	8件
声かけ・誘引	8件
脅迫・追いかけ	4件
露出者	5件
凶器所持	1件
不明	2件

2. 会議開催状況

「川崎市こども総合支援ネットワーク会議・子どもの安全確保部会」の開催

(1) 第1回部会会議

- ・ 開催日 平成18年7月31日(金)9時30分～11時40分
- ・ 出席部会員(順不同・敬称略)
 - 富田委員(川崎市民生委員・児童委員協議会)、藤山委員(川崎市主任児童委員)、伊藤委員(子育て*井戸端会議)
 - 古川委員(川崎市PTA協議会)、宮越委員(川崎市行政区地域教育会議)、前橋委員(川崎市役所地域振興課長)
 - 宮舘委員(市民局青少年育成課主査)、大畑委員(川崎支部小学校長会)、江幡委員(田島養護学校)
- ・ 審議結果概要

各委員から地域における様々な実例を報告しあい、意見交換する中で、いろいろな試みを実施していくことが重要であるとの確認を行った。

実施事例：地域見守り看板、下校時商店街放送、安全マップづくり

(2) 第2回部会会議

- ・ 開催日 平成18年10月13日(金)14時～16時
- ・ 出席部会員(順不同・敬称略)
 - 富田委員(川崎市民生委員・児童委員協議会)、藤山委員(川崎市主任児童委員)、伊藤委員(子育て*井戸端会議)
 - 古川委員(川崎市PTA協議会)、前橋委員(川崎市役所地域振興課長)、宮舘委員(市民局青少年育成課主査)
 - 大畑委員(川崎支部小学校長会)、江幡委員(田島養護学校)〔代理〕三浦大師中学校長(川崎地区中学校長会)
- ・ 審議結果概要

女子中学生の標準服切り裂き被害後の再発防止の取り組みを紹介しあい、意見交換を行った。意見としては、速やかな情報の伝達及び共有化が重要であると確認した。民生委員・児童委員協議会長からの申し出により、同会長への情報伝達を通じて地区民協で対応していただけることとなった。

川中島中学校区地域教育会議 子どもの安全を守る学校・地域連絡会

日時 平成18年11月8日(水)18:30～
場所 川崎市立川中島中学校特別活動室

- 1 犯罪・防犯の現状 川崎警察署、川崎区役所
- 2 各校の取組み 川中島中学校、藤崎小学校、川中島小学校
- 3 各町内会の取組み 藤崎町内会、伊勢町町内会、川中島町内会、
大師駅前町内会、観音町内会、大師中町町内会、
池上新町町内会
- 4 今後の取組みについて 川中島中学校PTA、藤崎小学校PTA、川中島小学校PTA

川中島中学校区地域教育会議・子どもの安全を守る学校・地域連絡会の発足についての提案

1 目的

地域と学校とが綿密に連絡を取り合うことによって、より効果的な防犯対策を実施できるようにしていく。
緊急事態に即応できる組織を編成する。

2 参加者

- (1) 地域教育会議 副議長(防犯担当)

- (2) 町内会 川中島町内会防犯担当、伊勢町町内会防犯担当、大師駅前町内会防犯担当、
大師駅前中町町内会防犯担当、観音町内会防犯担当、藤崎町内会防犯担当、
池上新町町内会防犯担当

- (3) 学校 藤崎小学校教務主任、川中島小学校防災担当、川中島中学校生徒指導担当
藤崎小学校PTA校外委員長、川中島小学校PTA校外委員長、
川中島中学校PTA校外委員長

3 次回の実施について

毎年、7月・12月(長期休業前)、年2回実施していく。地域教育会議の当番校が担当する。